

# 定通振会報

長野県松本筑摩高等学校

## 定通振興会報

令和7年(2025年)

2月28日発行 第55号

## お世話になりました

教育振興会会長 高畑 千恵

寒さ厳しい信州の里も草木の新芽が萌え出ずるところとなりました。日頃より皆様の絶え間ない支援により教育振興会の活動が可能となっており、心から感謝申し上げます。

本年度教育振興会でお手伝いしたことと委員会活動についてお伝えします。

6月に人権教育講座が開催され、東京パラリンピック開会式に出演した車椅子のギタリスト川崎昭仁さんをお招きし、幼少期のこと、高校時代に「もてたい、目立ちたい」とギターを始めたこと、バンドという音楽活動を通してさまざまな人が役割を持ち、一つの音楽を作り上げる魅力、バンドメンバーの方にはヘッドバンギングのやり方を教えていただいたり川崎さんの曲や10-FEETの第ゼロ感など何曲も演奏していただきまるで体育館がライブ会場のように盛り上がりました。

7月にはニューヨーク在住のアーティスト大森千寿さんをお招きし、多文化理解の講座を受けている生徒を中心に2日間アート体験をしました。駐輪場の2階に大きな紙を広げ大森さんの出したお題にそって自分の心の赴くままに、終わる頃には生徒も先生も手も足も絵の具だらけ(特に校長先生)になりみな熱心に色を塗っていました。

10月にはくれき野祭が開催され、教育振興会では昇降口テントでおにぎりの販売をし、250食用意しましたがおかげさまで正午前には完売でした。前日から教養委員の方が主体となってポスターを貼ったり、当日も販売をしていただいたりしました。

この原稿を書いている1月はまだ出来ていませんが、施設委員会が主体の校内環境整備事業では自習室の整備をしています。制作したオリジナルの長机を設置したり模様替えをし、いろいろな生徒が利用しやすい自習室になっている予定です。

そしてこの定通振会報が皆様のお手元に届いているということは、広報委員会主体で頑張って作業していただいたおかげで発行出来ています。原稿依頼や内容、校正、レイアウトなど発行まで長い道のりだったと思います。

このように大勢が参加出来る行事は数年前には考えられなかったことです。開催までに色々あったとは思いますが、本年度の活動が有意義なものとなったのも、常に生徒を思ってくれる本校の校長先生はじめ教職員の方、生徒に寄り添ってくれる外部の医師やカウンセラーや講師の方、見守ってくれる地域の方、応援してくれる企業の方、1番近くでサポートしていただいた保護者の皆様、そして主役の生徒の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

最後になりましたが皆様のご健康を願うとともに松本筑摩高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



バレーボール部 全国大会優勝

## 感性の扉を開くきっかけ

松本筑摩高等学校長 中島 秀明

5月14日に行われた教育振興会総会で提案するとともに、7月17日学校の定通振会報総会特集号で述べさせていただきことについて、現時点での取り組み状況をお伝えします。

一つ目は、不審者の校内への侵入を防ぐための防犯カメラ設置についてです。現在、カメラの適切な設置場所、プライバシー保護の観点を重視した運用規定づくり、機器の選定等について設置費用やランニングコストなどさまざまな角度から検討を進めています。特に、プライバシーの保護には十分留意してまいります。ご理解のほどお願い申し上げます。

二つ目の外部講師を招いての授業についてです。7月11日、12日の両日、ニューヨーク在住のアーティスト大森千寿さんにお越しいただき、アートワークショップを行うことができました。2日間で延べ三十人ほどの参加がありました。一日目は、「Happiness」「Excitement」「Love」「Freedom」の四つの言葉の一つずつイメージしながら、幅1メートル×10メートルほどの耐水性の紙の上に、手などを使って表現していききました。ワークショップの中では、参加者が途中で場所を移動して、他の参加者の表現した部分に自分の表現を加えたり、重ねたりする時間もあつたりと初めて体験することも多かったようです。参加したある生徒の感想には、次のように書かれていました。「自分らしさを出すことがとても大事だと思いました、周りの声などに流されず、自分をしっかり持ってこれからも進んでいきたいと思えます」。自分で決めてしまっている枠を自分の



内側から超えていくひとつの「きっかけ」になったのかもしれませんが。二日目には、「喜」「怒」「(哀) → 愛」「楽」がテーマでした。二日間参加した生徒の感想です。「四つの感情があるが、それぞれ混ざり合ったものがその時の自分の感情として表現されているのだと色の混ざりを見て感じた。混ざった感情も、その不安定なものも、自分なんだと捉えることで自分を客観視でき、前向きに楽しく生きることができるようではないか」。

また、安曇野高橋節郎記念美術館の学芸員さんにもお越しいただくことができました。

生徒のみなさんが、自分自身と向き合ったり、自分自身の心の内を表現したり、地域に根差した芸術に触れる機会を得ることができました。感性の扉を開くきっかけの一つとなり、ウェルビーイング向上につながればうれしいです。

これらの授業について振興会より謝金を支出させていただきました。ありがとうございました。

本校の校歌を作詞された谷川俊太郎さんが、2024年11月13日に92歳で逝去されました。谷川さんの旅立ちが、安らかなものでありますよう、心よりお祈りいたします。すてきな校歌を大切に歌い継いでまいりたいと思えます。

## 活動を通して自分を表現する

定時制午前部・午後部教頭 島田 和代

日頃より教育振興会の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をたまわり感謝申し上げます。昨年10月12日に行われた「くれきの祭」一般公開では、教育振興会企画として、会長、副会長様、教養委員の皆様を中心に、「おにぎり・いなりずし」を販売していただきました。開始間もなく完売となる盛況ぶりで、生徒達の活動の支えていただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行して2年となり、学校生活も日常を取り戻しています。「くれきの祭」では、ご家族の皆さまはじめ、大勢の方にご来場いただきました。授業やクラブ活動の日頃の成果に加え、ゲームやお化け屋敷といった「体験

コーナー」、「喫茶」、「販売」等、自分達が好きなものややりたいことを追求し、生き生きと発表したり、来場者におもてなしをしたりする姿は、それが制限されていたコロナ禍を経て、尚一層尊いものであると感じました。

くれきの祭での活動は、生徒達にとって、仲間との協働の場であるとともに、普段はあまり見せない「自分を表現する場」でもあったと思います。表現したものが、多くの人に伝わり、受け止めてもらい、楽しさや感動といった反応となって返ってくる。人とのつながりを実感し、自分を肯定する事につながる貴重な経験となったことと思います。

他にも、スポーツ、芸術、そして、その他行事で、生徒達は、様々な活動に取り組んでいますが、今年度、初めて試みた活動を1つご紹介します。それは、「鳥立こども広場」でボランティア活動です。松本大学の学生や地域の大人の支援者達と一緒に、小学生の学習支援やあそびの見守りを行う活動に参加しました。11月と12月に計2回、10数名の生徒が参加してくれました。小学生を楽しませるためのクリスマス企画等、事前に自分達で考え参加しました。参加後の感想を紹介します。「礼儀正しい子が多いと思いました・皆、元気で頼ってくれるのでうれしかったです。小学生だけと言っていることがにへえとなる瞬間が楽しかったのでささいなことにも耳を傾けたいです。」

保護者の皆様の振興会企画も、生徒にとって、貴重な見本であると思います。人生の先輩の活動・表現に触れることで、自分達の活動がより豊かになっていくと思います。学校としても、様々な場面で生徒の活動を大事にして、「自分を表現する」ことを支えてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

## 2年目ということ

教育振興会副会長 戸澤 幸

日頃より学校行事や振興会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

個人的には今年度は二度目のくれきの祭でした。2

年生の息子は本部での係もあったので、準備の段階からくれきの祭には並々ならぬ力を注いでおりました。私は2度目ということもあり、去年に引き続き振興会の模擬店で関わり、準備から運営までできる範囲でお手伝いさせていただきました。

生徒達の顔を見ると皆きらきらとやる気に満ち、忙しそうに走り回っている姿や接客に奮闘している姿など、生徒達の活き活きとした姿は見ていてとても嬉しいものでした。友人たちと協力して何かを成し遂げる姿は実に青春！という雰囲気を感じさせてくれました。

高校生ともなると参観日で学校へ足を運ぶことも少なくなっていくますよね。文化祭はめったに見られない子供達の学校生活を垣間見える機会ですから、卒業までには是非足を運んでいただけたらと思います。

ついでと思って振興会のブースと一緒に盛り上げてもらえたら、尚幸いです。

## 一年を終えて

教育振興会副会長 宮下 ○○

4月より副会長として振興会に携わり様々な経験をすることができました。PTA連合の大会では北信越地区各学校のPTAと先生・生徒との関わり方を聞くことができとても参考になりました。

学校行事では初めての「くれき野祭」がとても印象的でした。準備で見た各ブースのポスターには様々な催し物や美味しそうな食べ物が並んでいて前日からワクワクしました。

当日の天気は快晴！振興会ブースのおにぎりは飛ぶように売れ大盛況！！運営している生徒たちも楽しそうにお客さまをおもてなしし、またそのお客さまの嬉しそうな笑顔を見て大成功だと感じました。今回来校できなかった方はぜひ来年度のくれき野祭に足を運んでみてください。

この一年皆さまにご協力いただきながら無事に終えることができました。ありがとうございます。来年度も引き続きよろしく願いいたします。

## 委員会より

### 振興会の役員になってみて

広報委員長 藤松 みゆき

令和5年度の子供の入学式の日、振興会の役員決めをする際、やはり小学校や中学校の時のように、役員になるのが嫌だなと思っていました。そう思っていたからなのか、くじ引きの結果、広報委員に当たりました。

そして、令和6年度の委員長も引き受ける事になりました。引き受けた当初は…大丈夫かなあと思いながら毎日を過ごしていました。

しかし、会議がたくさんあるわけでもなく小学校や中学校のように大変ではないと思いました。委員会の仕事も担当の先生がやってくださり、名ばかりの委員長でした。委員長なのに、こんなに楽をしていていいのだろうかと思いました。その分、総会や理事会はきちんと出席しようと思いました。

子供が卒業するまで、振興会に協力していけたらと思っています。

来年度の広報委員長を引き受けてくださった方にも感謝です。

最後に、この原稿を書くにあたり何度も連絡をくださった千村先生ありがとうございました。

## 生徒会活動

### みんなのおかげ

午前午後部 生徒会長 五味 結愛

今の私があるのはみんなのおかげ。よく聞く言葉ですが私も同じ言葉をみんなに伝えたいと思います。

どんな物事に対しても悲観的な考えを持ってしまっていた私が、今笑顔で前向きに毎日を過ごしているのは高校4年間で関わってきた皆さんののおかげです。

私の高校生活の中心にあったのは生徒会活動でした。

私は今年度、生徒会長として活動させていただきましたが、みんなから見た私はどんな人間だっ

たかなと少し気になっています。

会長として活動する中では「仲良く支え合って欲しい」という思いを大切にしていました。私の長所を活かしながら生徒会の持つ課題の改善もできるのではないかと考えたからです。結果、今年度の本部役員のみんなは生徒会の活動以外のところでも関わりが多く、とても仲が良かったような印象です。

距離が近い分、仕事に対しても細かく相談してくれることが多かったのでスムーズに行事の準備が進んでいたと思います。

他の委員会の皆さんも同様、校内ですれ違った時には挨拶をしてくれる方も多く、私が手を振って挨拶をした時には手を振り返してくれることもあって、私は、とても優しい方々に巡り会えたんだなあと感じていました。

忙しいということは毎日が充実しているということ。

みんなと一緒に活動できたこの時間は、私にとって一生の思い出です。これからも互いを応援し合いながら、それぞれの未来を歩んでいきましょう。一年間本当にありがとうございました。

### 松本筑摩高等学校に入学して

通信制 3年C組 草間 瑛太

私は中学生の時に不登校になってしまいました。体調不良で毎日学校に通うことができないかという不安などから、松本筑摩高校の通信制に入学しました。

入学してからは、通信制という今までなじみのない学習スタイルについていけるか心配でした。しかし、面接やレポートはとても大変というわけではなく、レポートは家でいつでもできるため、自分のペースでコツコツと学習を進めることができました。また、通信制ということもあり、時間を確保しやすかったため、バイトもたくさん入ることができ、学校の勉強をしながら、仕事場で社会経験をすることもでき、学校内外で学びを得ることができました。

学校での学習を進めていく中で、もっといろんな経験をしてみたいと思った私は、高校2年生の時に生徒会に入りました。生徒会に入ってみて、生徒会の人と関わりや、一緒に仕事をするのができて、とても充実した時間になりました。また、学校行事の企画、運営に携わることができ、貴重な経験をすることができました。

高校生活を振り返って、私は高校入学当初から

勉強だけでなく、バイトや生徒会の経験を積むことも頑張り、それらの経験を通じて成長できたと思っています。

これからも、自分の成長のために様々なことを経験して、勉強して、社会に貢献できる人になるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

## 高校生活を振り返って

夜間部 生徒会長 丸山 心奈

心がけてきたのは「学校だったら登校する。職場だったら出勤する。」

まずは行動すること。当たり前かもしれないけど、一番大変で、大切なことだと思います。

一人の生徒として、私が夜間部に入学して良かったと思うところを挙げてみます。中学校の先生方を通して、中学生に向けて話す学校説明会でも伝えたり、夜間部主催の学校説明会の時にも話しています。

1つ目が「自分のペースに合っている」ことです。登校時刻、授業の進み方や内容などの点で、勉強自体が苦手な人、授業の展開が速いと困る人、内容が難しく追いつけない人など、それぞれに合うペースで授業が受けられることです。

2つ目が「少人数で過ごせる」ことです。多人数での授業はほとんどないので、「学校には行きたいけど、多人数が苦手」という人にもぜひおすすめ！

3つ目が「仕事と両立しやすい」ことです。授業は基本夕方から4時間のみなので、その授業の前後に昼職や夜職のどちらでも、仕事のシフトを入れやすいことです。

4つ目が「給食がある」ことです。授業中に「お腹がすいて集中できない」なんてことはほとんどないし、自分で作らなくていいから楽で、あと「おいしい」です。

5つ目が「授業以外のイベントが多数ある」ことです。これは、この夜間部のご褒美dayみたいな感じで、今日は授業やだな…っていう時の息抜きになるからです！

そして年齢も関係ない。見た目や格好なども自分の好きにできる。アルバイト、仕事は自由。申請すればバイクや車で登校もOK。

筑摩高校の夜間部、基本どんな人でも、まず受け入れてくれる場所であり、そしてそういう先生達もたくさんいます。

「この夜間部に合わない人の方がほとんどいないんじゃないか」ってくらい良いところがたく

さんあって、いろんな人に本当に知ってほしい、最高の場所だと思います。

ここからは、高校生活を振り返りながら、伝えたいことを書いてみたいと思います。

ちなみにですが、私は「5年間」この高校に在籍しています。この「5年間」は、今思うと「もう5年もたったの!？」って気持ちと、「めっちゃめっちゃ長かったな」って気持ちが半分半分です。高校生活も私生活も、「いい出来事」と「悪い出来事」の両方が盛り沢山で、体験したことのない出来事たちがいっぱいありました。初めて味わった感情も数え切れません。「向き合わなきゃいけない」ことから逃げたことも何度もあったし、「私、何で高校行ってるんだっけ?」と学校自体に行く意味が分からなくなった時もありました。そんな自分をここまで手助けしてくれた担任の先生や、その他の後押ししてくれた先生方がいてくれたから、今ここまで来ることができるとしみじみ思います。

夜間部の先生方はじめ、歴代の担任の先生、そして今担任の杉田先生には、

本当にどれだけの「ありがとう」を言っても足りないほどに感謝まみれです。

そして何より、高校生活で私が絶対に経験することのないものだと思っていた「自分が夜間部の生徒会長になる」ということ。これに関しては、最後の最後までずっと不安で、「自分にできるわけがない」と思ってたし、結局できなくて任せ切りになってしまった時もあったけど、副会長の鮎澤さん、竹内さんという優秀すぎる人がいてくれたから、私は「夜間部の生徒会長」ができたし、何とか「夜間部生徒会」があったと思います。二人が副会長になってくれて、本当に良かったです。あと、困っていた時に、親身になって協力してくれた丸山先生にも感謝です。生徒会に関わっていただいた方へ、本当にありがとうございました！！

話は変わっちゃいますが、私は自分の言葉を文章にして伝えるのがめっちゃ苦手です。なので、これを見てくれた方は、もしかしたら「何を伝えたいのか?」

と思う方もいるかも…ですが、私もよくわかりません。

ただ、この学校の良さ、先生方の温かさに心からありがとうと感謝、これが一番伝えなかったことなんだと思います。

この高校を知って、通うことができ本当に良かったです。今年こそ巣立ちの年になるよう、最後まで気を抜かず、残りわずか、気合い入れて登校したいと思います。

## 生活体験発表大会に参加して

夜間部3年 鮎澤 千尋

私は今まで自分の人生を真剣に見つめ直したことがありませんでした。そのきっかけを与えてくれたのは生活体験発表でした。入学してから今まで2回の生活体験発表は、どこかひとごとのように過ごしてきました。自分を客観的に見るのが怖かったようにも、今なら思います。

高校生活も3年目、折り返しを過ぎたからか？日頃、時間に追われて暮らしているけれど、このまま過ぎていいのかなと思う気持ちもありました。

やっと重かった腰を上げ、夏休み中に文章を作成し、7分という時間制限のある中でどのように表していくことがベストなのか、ひたすら文章を推敲する日々でした。しかし文章を作ったら発表しないといけないのです。大勢の人の前に立つのは緊張してしまうから苦手で、何をどうしたらいいのかわからず本番を迎えました。体に極度の負荷がかかっていたのか、体中に蕁麻疹が出て、その対応にも追われました。

ただ精一杯に当日まで発表練習をしたことは事実、それを糧にするしかないと覚悟を決めました。

練習は裏切らないとはこのことで、9月5日に塩尻市レザンホールで行われた中信大会では、そのときまでで一番の発表ができ、優秀賞をいただきました。それと同時に県大会への出場権を得ました。

1ヶ月後の県大会に向けて、そこからまた文章の練り直し、発表練習を繰り返しました。そして県大会が近づくとつれてまた謎の蕁麻疹、これも仲良く付き合うことにしました。

駒ヶ根市地域交流センターで10月5日に行われた県大会。各地区から選ばれた生徒たちは皆、自信に溢れているように見えました。

私は口から心臓が飛び出そうなくらいの緊張でしたが、地区大会と違ったのは生徒の年齢層が広がったことです。現役高校生と倍以上の年齢なのは私だけかと思っていた地区大会が、県大会に来てみたらアウェーな感覚はなく、皆、全力で取り組んでいると気づかされました。それが心強かった。実際、肌で感じることで、得るものの多い県大会でした。

今までに味わったことのない『言葉や感情を客観的に文章にする』という生みの苦しみでした。

しかしこれも筑摩高校に入学できたから経験できたことです。逃げていれば体験しなくてもいい苦しみだったかも知れません。でも人生に無駄なことなんて何一つありません。経験したことに意味があるのだと思います。決して忘れられない高校生活の大切な思い出になったことは間違いありません。

中信大会のときにも来て下さった信濃毎日新聞の記者の方が、県大会にも足を運んで下さり、お褒め

いただいたことは本当に光栄でした。

県大会の後、時間の経過と共に蕁麻疹は出なくなり、今はもう何事もなかったかのようです。一体何だったのでしょうか……。

あのとき、疲弊していた私に温かい言葉をかけて下さり、文章の添削、発表練習、授業の時間を割いて下さった先生方に厚く御礼申し上げます。あのときの私が伝えられなかった言葉。「温かく見守って下さり、いつも味方でいてくれてありがとうございました。」

## 部活動

### 飛躍の年

バレーボール部 女子チーム代表 宮原 希颯

昨年度より1試合でも多く勝つ、と意気込んで練習に励んだこの1年は、自分達にとって飛躍の年になりました。

1年前、第1試合で敗退し、涙を飲むことになった全国大会という大舞台。今年は絶対に勝ちたいと思いい部員一丸となって練習を積み重ね、再びこの舞台に戻ってこれることができました。

しかし、大会の当日に聞かされたのは1試合目の相手高校の棄権に伴う不戦勝。全国大会の私達の初試合は2試合目に持ち越されることになりました。

正直驚きましたが、チームメイトや先生などの顔を見たら、あまり焦りや不安はありませんでした。ここまで頑張ってきたのだから、絶対に大丈夫だと皆が思っていたように今は感じます。

そして2試合目、絶対に勝とうとチーム全員で一心不乱に戦った結果、ストレートで勝つことができました。

そこからは試合の雰囲気を読み、勢いにのって3回戦、準々決勝と共に勝つことができました。そして、準決勝に駒を進め戦うことになったのは前回優勝校。結果はストレートで負けてしまい、3位という順位で私達の全国大会は終わってしまいました。最後の試合は今までやってきたどの試合より楽しくて、自分たちの成長を肌で感じる事が出来ました。

練習が嫌になったり、時にはチームメイトと衝突したりして上手くいかない時もありましたが、この1年は、チームとしても個人としても成長できた1年でした。

この経験は必ず糧になると思っています。これからも周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、日々前進していきたいです。

## 継続は力なり

バドミントン部 部長 山本 蓮

私はみんなの推薦で部長に選ばれました。最初は「なぜ自分が部長なのだろう」と疑問を感じ、いやいやながら始めたのですが、顧問の先生や周りのサポートのおかげで、1年間何事もなくやり遂げることができました。

印象に残っている出来事の一つは、文化祭の準備です。副部長のゆまさんやアルムさんをはじめ、みんなが積極的に準備を進めてくれたおかげで、文化祭は大成功を収め、すべての商品が完売しました。本当に嬉しかったです。

次に心に残っているのは、小田原市で行われた全国大会です。必死に練習して臨みましたが、去年

の成績を超えることはできず、悔しい結果となりました。この悔しさを胸に、みんなで「北信越大会でリベンジしよう」と誓い、石川県での北信越大会に挑みました。その結果、団体戦と個人戦ともに優勝できました。昨年のリベンジを果たし、優勝カップを持ち帰ることができたのは、全員の努力の賜物です。特に個人戦では、団体戦優勝の勢いに乗ってリラックスして試合に臨むことができました。試合後には父から「今までで一番いいプレイだった」と言われ、大会優勝という結果に繋がりました。諦めずに練習を続けてきて、本当に良かったと思います。

4年間続けてきた部活動の成果が、北信越大会個人戦優勝という形で表れ、「継続は力なり」という言葉の意味を改めて実感しました。これからは、バドミントン部の伝統をつないでいってほしいと願っています。

## 令和6年度 運動部大会結果

### 全国高等学校定時制通信制総合体育大会

長野県高体連定通専門部事務局まとめ

#### ●軟式野球

期日：8/13～8/17 会場：明治神宮野球場  
男子 松本筑摩 2-9 埼玉県立大宮中央高校・通

#### ●卓球

期日：7/23～7/25  
会場：駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場  
男子団体  
松本筑摩 2回戦 ×-○小台橋（東京）  
女子個人  
神田ゆずゆ（松本筑摩）1回戦×-○高本（広島・三原）

#### ●バレーボール

期日：7/30～8/3  
会場：ひらつかサンライフアリーナ 平塚総合体育館  
女子 3位（ベスト4）  
予選 2-0 英心（三重）  
トーナメント1回戦 2-0 あずさ第一（千葉）  
トーナメント2回戦 2-0 清心女子（神奈川）  
準々決勝 2-0 稔ヶ丘（東京）  
準決勝 0-2 天理（奈良）

#### ●バドミントン

期日：7/29～8/1 会場：小田原アリーナ  
男子団体 長野県選抜 2回戦 0-3 兵庫県  
女子団体 長野県選抜 1回戦 1-2 福岡県  
男子個人  
山本蓮（松本筑摩）  
2回戦 1-2 木原（兵庫・飾磨工業）

上條優人（松本筑摩）

1回戦 2-0 藤田（京都・清明）  
2回戦 2-1 興儀（沖縄・中部農林）  
3回戦 0-2 遠藤（北海道・有朋）

丸山悠舞（松本筑摩）

1回戦 2-0 飛田（茨城・日立工業）  
2回戦 0-2 安達（高知・高知北）

### 信越高等学校定時制通信制総合体育大会

長野県高体連定通専門部事務局まとめ

期日：10/19～20 石川県

#### ●卓球

会場：金沢市営浅野川市民体育館  
男子団体 長野県選抜 3-0 石川県選抜 準優勝  
3-0 富山県選抜  
3-1 福井県選抜  
2-3 新潟県選抜  
女子団体 長野県選抜 0-3 新潟県選抜 4位  
3-1 福井県選抜  
2-3 石川県選抜  
2-3 富山県選抜

女子個人

神田ゆずゆ（松本筑摩） 1回戦 1-2 林（雄峰昼・富山）

#### ●バレーボール

会場：金沢市営西部市民体育館  
女子 松本筑摩 2-0 富山県選抜 優勝  
2-0 道守（福井）

#### ●バドミントン

会場：とり野菜みそBLUECATS ARENA  
男子団体 長野県選抜 3-2 富山県選抜 優勝  
4-1 新潟県選抜  
5-0 福井県選抜  
4-1 石川県選抜

女子団体 長野県選抜 4-1 石川県選抜 3位  
1-4 福井県選抜  
4-1 新潟県選抜  
2-3 富山県選抜

男子個人 山本 蓮 (松本筑摩)  
2回戦 2-0 北村 (志貴野・富山) 優勝  
3回戦 2-0 市村 (高田南城・新潟)  
4回戦 2-0 山本 (泉丘通信・石川)  
決勝 2-0 今井 (となみ野・富山)  
上條 優人 (松本筑摩)  
1回戦 2-0 渡邊 (金沢中央・石川)  
2回戦 1-2 山田 (長岡明德・新潟)  
丸山 悠舞 (松本筑摩)  
1回戦 1-2 黒川 (金沢中央・石川)

### ●軟式野球

期日:1日目雨天延期 会場:内灘町総合運動公園野球場  
男子 長野県選抜  
1回戦 11-6 新潟選抜  
1位 (福井と同率) 決勝、3位決定は実施せず。

## 長野県高等学校定時制通信制秋季体育大会中信大会

日時:令和6年11月2日(土)  
場所:松本筑摩高校 西体育館

### ●バトミントン

男子シングルス  
1位 山本蓮 2位 上條優人 3位 新保アテム海人  
女子シングルス  
1位 丸山悠舞 2位 鶴見綾

### ●卓球

男子個人  
1位 桑崎晃次 2位 宮下智久 3位 大月風弥  
女子個人  
1位 神田ゆずゆ 2位 佐々木花菜

## 令和6年度 文化部の活動

### ●写真部

#### 第27回中信地区高等学校高校写真展

2F 森山 陽奈 「燃え上がれ炎」 優良賞

#### 第31回長野県高校写真展

1C 小林未来 「夕陽の力」 展示  
同 「炎舞」 展示  
2A 月岡優衣 「祝日」 展示  
2F 森山陽奈 「燃え上がれ炎」 入賞候補作  
同 「おまじない」 展示

#### 第26回長野県高校生フォトコンテスト

2A 林昂輝 「とびだせ かみあかり」 優良賞  
同 「隅から隅までずい〜と」  
奨励賞・審査員特別賞

### ●書道部

長野県書道展 出品 銀賞 2G 濱 美晴  
長野県高等学校書道展 出品  
中信高校書道展 出品 (合作)  
島立地区芸術文化祭 出品

### ●美術部

#### 第78回松本学生美術展 第65回松本芸術文化祭

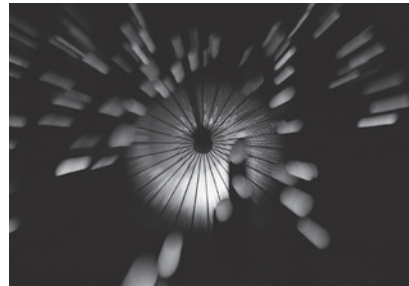
2024年10月18日(金)~20日(日) 松本美術館  
出展生徒:窪田歩咲 (優秀賞) 前澤凜太郎  
杉本さくら 平林空

#### 第46回長野県高等学校美術展

2025年1月11日(土)~13日(月)  
サントミュージゼ 上田市美術館  
出展生徒:窪田歩咲



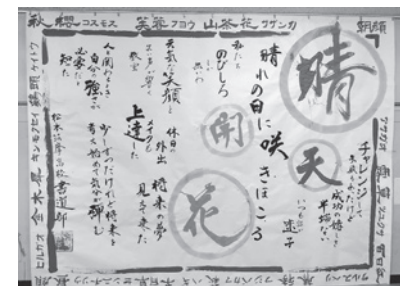
2年 森山陽奈「燃え上がれ炎」



2年 林昂輝「とびだせ かみあかり」



2年 林昂輝「隅から隅までずい〜と」



書道部作品